

参加団体訪問-8 新宿区立市谷小学校

環境に対する意識は年々高まり、道路空間にもうるおいと安らぎが求められています。私ども公社では、地域住民の皆様のボランティアによる快適な道路環境づくりを目指す東京都の「東京ふれあいロード・プログラム」に協力しています。

このプログラムは、道路の清掃や植栽の手入れなどの道路美化活動を、地域住民の力や地元自治体、企業団体と東京都が協力しあって進めていくプログラムです。現在、この「東京ふれあいロード・プログラム」に参加して下さっている団体は57団体です。公社ではこのプログラムに参加する団体を支援しています。

このコーナーでは「東京ふれあいロード・プログラム」の参加団体の活動を紹介していきます。今号は、新宿区立市谷小学校を訪問いたしました。



ふれあい
ロードプログラムは、
実際に自分たちで
花を選べるので
楽しいです!



市谷小学校では、環境委員会、飼育栽培委員会や理科係の子どもたちが中心となって、みどりのボランティアの皆さんの協力のもとに草花を育てる活動をしています。

校庭で植え替えの
準備中

グループで
責任をもつ
仕組みなので
個人の負担が
少ないです



みどりのボランティアの皆さん



季節の草花を咲かせて、
地域の人のたちとの
ふれあいを広げています
新宿区立市谷小学校は大久保通りに

活動しやすい
日や時間
をお互いに調整
できるから
参加しやすいです



フェンスを学校側にセット
バックしてできた花壇



みどりのボランティアの会員は現在33名。年3回の花の植えつけを子どもたちと一緒にするだけでなく、当番を決めて、水やり作業をしています。

日照りが続くと
水やりも
大変です。



市谷小学校では、5年生が6年生の卒業式と新入生の入学式のために、サクラソウを種から育てています。入学式を終えたあとは、大久保通りの花壇に植え替えます。



草花を育てることを通してふれあいが生まれ、
子どもたちに優しい心、思いやる心が育っています。



新宿区立市谷小学校
高橋康夫校長

平成17年に100周年を迎えた新宿区立市谷小学校は、平成16年から新宿区の学校緑化推進校の指定を受けました。これは学校と地域の人たちが一体となって学校緑化を進めるというもので、市谷小学校では、校庭や学校の外周の一部に花壇や小さなビオトープを作り、草花を育てています。ただ、子どもたちだけでは季節の花の植え替えや、日々の水やりなどの維持管理が難しかったため、スクールコーディネーターに相談し、保護者の方々に協力してもらうことになりました。ここから保護者が中心になっている「みどりのボランティア」の会も発足しました。平成18年から参加するようになった、「東京ふれあいロード・プログラム」では、子どもたちが、みどりのボランティアの皆さんにお手伝いをしていただきながら、大久保通り沿いの花壇に四季折々の草花を植えたり、ゴミを拾う活動をしています。道行く人に花壇がきれいですねと声をかけられたり、お手紙をいただいたり、まさにふれあいロードです。草花を育てることを通して、人と人とのふれあいが生まれ、子どもたちに優しい心、思いやる心が育っていると思っています。

子どもたちが自然に親しみ、豊かな心を育てて欲しい…
そんな思いが「みどりのボランティア」の原動力です。

「みどりのボランティア」は、平成17年に発足した、市谷小学校の保護者と地域の方によるボランティアの会です。年3回行う、大きな植えつけ作業を子どもたちと一緒にするほか、日々の草花の水やりや除草作業、ゴミ拾いなどを学校と連携をとりながら、協力して行っています。会員数も初年度は19名からのスタートでしたが、現在では33名となりました。活動は4カ月ごとにリーダーグループを決め、その方たちが中心になって進めています。また、夏休みには会員以外の保護者にも親子で水やりに参加していただくことで、少しずつですがこの活動の輪が広がっています。



左から、みどりのボランティアの小角さん、中村さん、深澤さん、鈴木さん、的場さん